

令和元年8月臨時議会 議案概要			担当課	総務課	種別	予算
議案番号	議案第64号	議案名	令和元年度琴浦町一般会計補正予算(第2号)			
目的	町の観光戦略を練り直し、観光による地域産業全体の活性化を図るため、地方創生交付金の内示に伴い、臨時に補正を行うもの。					
内容	1 補正額[単位：千円]					
	補正前予算額		補正額		補正後予算額	
	9,922,648		24,700		9,947,348	
	2 主な計上内容					
	歳入予算の主な計上内容については、次のとおりである。					
	[単位：千円]					
	款名称等			補正額		
	国庫支出金			13,350		
	繰入金(地域振興基金)			11,350		
	合計			24,700		
歳出予算の主な計上内容については、次のとおりである。						
(1) コトウラ観光産業化プロジェクト事業(地方創生)[26,700千円]						
ア 事業説明						
ICT 先端技術によるビッグデータを活用した人流分析でターゲットを絞った観光戦略を策定し、道の駅を拠点として町内を周遊する取組を推進する。観光振興を通じて、地域の農水畜産業、商工業を活性化させ、豊かで活力ある琴浦町の未来を創り、持続可能なまちづくりを目指す。						
◆全体計画						
計画期間：R1～R3(3カ年)						
○ 観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)						
○ スマホのビッグデータを活用した分析						
○ 情報戦略の構築及びPR媒体の整備						
○ 農畜海産物等を活用した観光商品の開発						
○ インバウンド対策による外国人観光客の誘客						

	<p>イ 経費</p> <p>(ア) 観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)</p> <p> a 報償金[100 千円]</p> <p> b 費用弁償[600 千円]</p> <p>(イ) スマホのビッグデータを活用した分析</p> <p> 観光マーケティングインフラ構築委託料[8,000 千円]</p> <p>(ウ) 情報戦略の構築及びPR媒体の整備</p> <p> a 道の駅活性化計画策定業務委託料[8,000 千円]</p> <p> b 観光戦略リブランディング企画制作委託料[3,000 千円]</p> <p> c 観光情報発信機能強化事業委託料[7,000 千円]</p> <p>ウ 財源</p> <p>(ア) 地方創生推進交付金(国庫支出金)[13,350 千円]</p> <p>(イ) 地域振興基金繰入金[13,350 千円]</p> <p>(2) 観光振興事業[△1,962 千円]</p> <p> ア 事業説明</p> <p> 当初に観光振興事業で予算化していた業務をコトウラ観光産業化プロジェクト事業へ移行することに伴い、経費を減額するもの。</p> <p> イ 経費</p> <p> (ア) 報償金[△12 千円]</p> <p> (イ) 観光パンフレット・ポスター作成委託業務[△1,950 千円]</p> <p> ウ 財源</p> <p> (ア) 地域振興基金繰入金[△2,000 千円]</p> <p> (イ) 一般財源[38 千円]</p>
補足事項	

コトウラ観光産業化プロジェクト(地方創生推進交付金事業)について
(地方創生推進交付金〔横展開タイプ3年間〕活用)

商工観光課

1 現状と課題

- 観光客数は2014年71万4千人をピークとして、2018年は67万6千人と減少傾向となっている。
- 町内各観光地点の観光客数では道の駅が全体の86%を占めており、町内その他の観光地への誘導ができていない。
- 旅行会社への売り込みにより観光バスは増加したものの、お金を落としていただく仕組みが構築できていない。

2 目指す将来像

- 琴浦町にある地域資源を今一度洗い出し、体系的に整理統合のうえ観光戦略を練り直す。
- 観光戦略の策定にあたっては、ICT先端技術によるビッグデータを活用した人流分析を行い、食と観光資産を再構成した観光戦略を再立案(リブランディング)する。
- 最終的には、広義の観光振興を通じて、地域の農水畜産業、商工業を活性化させ、豊かで活力ある琴浦町の未来を創り、持続可能なまちづくりを目指す。

3 全体の事業概要

- (1) 観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)
- (2) スマートフォンのビッグデータ(位置情報)を活用した分析、ターゲットを絞った広報戦略、観光商品づくり
- (3) 情報戦略の構築及びPR媒体の整備
(2つの道の駅の情報発信機能の強化及び活用方法の再考、施設の一部改修)
- (4) 農畜海産物等、地域資源を活用した観光商品の開発
- (5) インバウンド対策による外国人観光客の誘客

4 今年度の事業計画

項目	内容	予算額
観光ビジョン策定委員会開催	委員報償費、外部有識者費用弁償	700千円
観光マーケティングインフラ構築	AI Beaconシステムの導入 (人流分析)	8,000千円
道の駅活性化計画の策定	現状診断・分析・再生計画	8,000千円
リブランディング企画制作	ロゴ等のブランド再開発	3,000千円
観光情報発信機能の強化	広報媒体制作、HP改修	7,000千円
合計		26,700千円

5 交付金のスケジュール

交付金の内示予定	8月上旬
交付金の交付決定予定	8月下旬

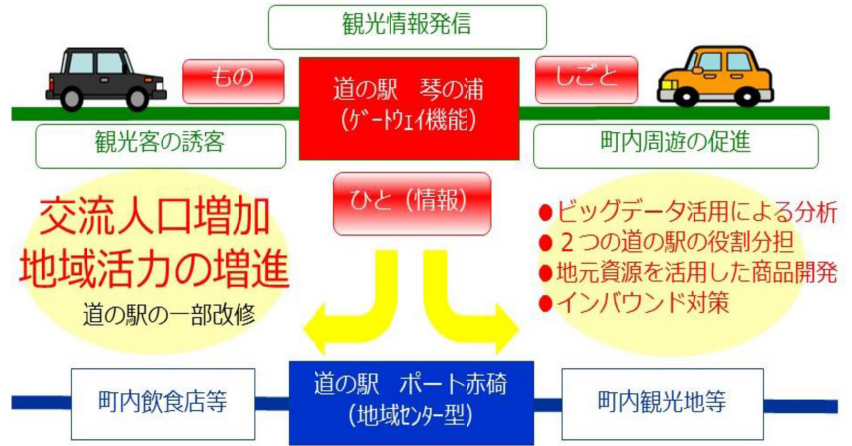
事業名称:コトウラ観光産業化プロジェクト（横展開タイプ 3年間）

【背景・課題】

- 観光入込動態調査によると、観光客数はH26年の71万4千人をピークとして、減少傾向(H30年67万6千人)。また、2つの道の駅が観光客全体の86%を占めており、町内の観光地へ誘導できていない。
- 要因としては、グルメストリートの活動中止や拡大傾向にあるインバウンドに積極的でなかったこと、新たな観光資源の掘り起こしが出来なかったことなどが考えられ、地域間競争に勝てていない。
- 観光協会においては、旅行会社への売り込みにより、観光バスを増やすという成果は出ているものの、旅行者にお金を落としていただく仕組みを構築できていない。

【新たな動き】

- 町内3施設(光の饅絵、神崎神社、塩谷定好写真記念館)がミシュラングリーンガイド選定
- 山陰道沿い道の駅「琴の浦」のインターチェンジ化
- とっとり琴浦グランサーモンの誕生
- 民泊の整備(国登録有形文化財に認定された茅葺古民家)
- 国内最大級の外国人向けサイト「ガイジンポット」において、鳥取県が「外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」1位



町にある地域資源を「食」に限らず全てにおいて今一度洗い出して体系的に整理統合し、観光戦略を練り直す。

ICT先端技術によるビッグデータを活用した人流分析でターゲットを絞った戦略を策定し、観光拠点である道の駅「琴の浦」から町内を周遊する取組を推進することにより、最終的には、広義の観光振興を通じて、地域の農水畜産業、商工業それぞれを活性化させ、豊かで活力ある琴浦町の未来を創り、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを目指す。

事業名称:コトウラ観光産業化プロジェクト（横展開タイプ 3年間）

【実施事業】 計 73,502千円

●観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)

関係団体のほか外部の有識者(地方創生人材支援制度も活用)も構成員とした観光戦略会議を開催し、地域資源を今一度洗い出し・体系的に整理統合した観光戦略を策定する。

●スマートフォンのビッグデータ(位置情報)を活用した分析(ターゲットを絞った広報戦略、観光商品づくり)

ターゲットを絞った戦略を策定・展開していくため、AI Beaconシステムを活用した高度な人流分析を行い、現状の分析及び狙うべき町の観光客を鮮明とさせる。

●情報戦略の構築及びPR媒体の整備(2つの道の駅の情報発信機能の強化及び活用方法の再考、施設の一部改修)

体系的に整理した戦略に基づき、情報戦略と広範な産業・観光振興と販売戦略の具体的な施策を構築し、ターゲットと訴求内容等を明確にしたPR施策を再整備することにより、観光客の増加へと繋げる。また、本町のゲートウェイとなる2つの道の駅の活用方法を再検討、整備することにより、道の駅の情報発信機能を強化し、町内への周遊観光を促進させる。

●農畜海産物等、地域資源を活用した観光商品の開発

農畜海産物が豊富な本町の強みを活かし、地域資源を活用した観光関連商品を開発することにより、2つの道の駅を核とした観光消費額の増加へ繋げ、稼ぐ力を発揮していく。

●インバウンド対策による外国人観光客の誘客

国内最大級の外国人向けサイト「ガイジンポット」において鳥取県が「外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」1位となった。外国人観光客のトレンドが地方に向けられつつあること、町内の3施設がミシュラングリーンガイドに選定されたことから、これまで実施していなかったインバウンド対策に取り組むことにより、減少する観光入込客を増加させ、町全体の地域産業の振興を図る。

項目	1年	2年	3年	経費
(1)観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)				2,100
① 戦略会議(有識者の招聘等も含む)	○	○	○	2,100
(2)スマホのビッグデータを活用した分析				24,000
① AI Beaconシステムの設置・運用	○	○	○	24,000
(3)情報戦略の構築及びPR媒体の整備				38,402
① リブランディング企画制作	○			3,000
② パンフレット制作、動画制作、ホームページ制作	○			7,000
③ 道の駅再生計画策定	○			8,000
④ 道の駅一部改修(道の駅「琴の浦」)		○		20,402
(4)農畜海産物等を活用した観光商品の開発				3,000
① 既存商品のブラッシュアップ		○		1,000
② 観光関連商品の新開発(試作)		○		2,000
(5)インバウンド対策による外国人観光客の誘客				6,000
① 各種観光施設の多言語化整備		○	○	1,000
② 海外向けSNS情報等の発信業務		○	○	5,000
計				73,502千円(町負担額36,751千円)

※AI Beaconシステム(博報堂と㈱アドインテが開発)

スマートフォンユーザーのデータを匿名状態で広範囲に取得・蓄積し、そのビッグデータを解析することができるシステム。滞在状況や滞在時間の分布が測定可能となり、アンケートやサンプル調査では分からなかった琴浦町観光客の様々な特徴を分析・把握できる。このシステムの活用により、他エリアでは実施例の少ない、かつ精度の高い観光マーケティングを実施する。

項目	現状値(H30)	目標値	増加数
道の駅以外の観光入込客数	96,474人	156,474人	60,000人
道の駅「琴の浦」のレジカウンタ数	261,447人	381,447人	120,000人
観光ガイドによる案内者数	6,675人	8,175人	1,500人
観光関連雇用創出者数	0人	10人	10人